



PCT

特許協力条約に基づいて公開された国際出願

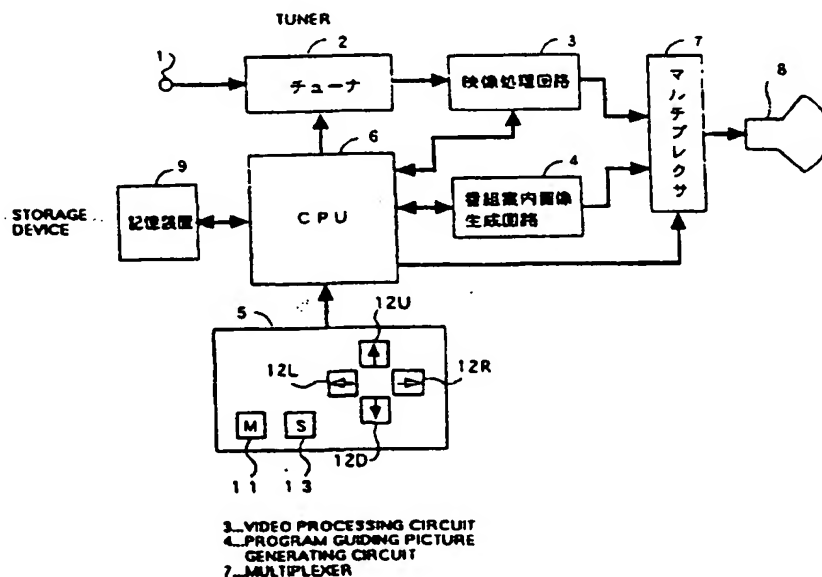
<p>(51) 国際特許分類 H04N 5/445</p>	<p>A1</p>	<p>(11) 国際公開番号 WO97/46011</p> <p>(43) 国際公開日 1997年12月4日(04.12.97)</p>
<p>(21) 国際出願番号 PCT/JP97/01777</p> <p>(22) 国際出願日 1997年5月26日(26.05.97)</p> <p>(30) 優先権データ 特願平8/138323 1996年5月31日(31.05.96) JP</p> <p>(71) 出願人 (米国を除くすべての指定国について) 三洋電機株式会社(SANYO ELECTRIC CO., LTD.)(JP/JP) 〒570 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 Osaka, (JP)</p> <p>(72) 発明者; および</p> <p>(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ) 脇坂雅子(WAKISAKA, Masako)(JP/JP) 〒533 大阪府大阪市東淀川区上新庄3-1-2-1015 Osaka, (JP) 山下昭彦(YAMASHITA, Akihiko)(JP/JP) 〒651-12 兵庫県神戸市北区口の峰1丁目10-15 Hyogo, (JP)</p> <p>(74) 代理人 弁理士 安富耕二、外(YASUTOMI, Koji et al.) 〒370-05 群馬県邑楽郡大泉町坂田一丁目1番1号 三洋電機株式会社 情報通信事業本部内 Gunma, (JP)</p>		<p>(81) 指定国 CA, CN, KR, US, 欧州特許 (DE, ES, FR, GB).</p> <p>添付公開書類 国際調査報告書</p>

(54)Title: PROGRAM GUIDE DISPLAYING AND CONTROL DEVICE AND TELEVISION RECEIVER

(54)発明の名称 番組案内表示制御装置およびテレビジョン受像機

(57) Abstract

A program guide displaying device which allows a user to quickly move a cursor between program guides suitable to the contents set by the user on a program guiding screen and a television receiver. A plurality of program guides are displayed on a display device in a matrix-like state by respectively using either one of the axes of ordinate and abscissa for plotting channel numbers and the other for plotting time and a cursor is displayed so as to indicate one program; and a display control means which displays program guides in such a way that the program guides suitable to the set contents of the user can be discriminated from the program guides which are not suitable to the set contents and a cursor control means which moves the cursor to the program guides suitable to the set contents of the user in a designated direction when a leftward, rightward, upward or downward cursor moving command is inputted are provided.



(57) 要約

番組案内画面上において、ユーザの設定内容に適合した番組案内同士間で、カーソルを速やかに移動させることができるようになる番組案内表示装置およびテレビジョン受像機を提供することを目的とする。

縦軸および横軸の一方をチャンネル番号軸とし他方を時間軸として、複数の番組案内を表示装置にマトリックス状に表示するとともに、番組を指定するためのカーソルを表示するようになし、ユーザの設定内容に適合した番組の番組案内とユーザの設定内容に適合しない番組の番組案内とを識別できるように表示する表示制御手段、および左右または上下方向のカーソル移動指令が入力された場合には、カーソルを指定された方向にかつユーザの設定内容に適合した番組の番組案内まで移動させるカーソル制御手段、とを備えた。

参考情報

PCTに基づいて公開される国際出願のパンフレット第一頁に記載されたPCT加盟国を特定するために使用されるコード

AL	アルバニア	ES	スペイン	LR	リベリア	SG	シンガポール
AM	アルメニア	FI	フィンランド	LS	レソト	SI	スロヴェニア
AT	オーストリア	FR	フランス	LT	リトアニア	SK	スロヴァキア共和国
AU	オーストラリア	GB	ガボン	LU	ルクセンブルグ	SL	シエラレオネ
AZ	アゼルバイジャン	GE	グルジア	LV	ラトヴィア	SN	セネガル
BA	ボスニア・エルツェゴビナ	GH	ガーナ	MC	モナコ	SZ	スワジランド
BB	バルバドス	GM	ガンビア	MD	モルドヴァ共和国	TD	チャード
BE	ベルギー	GN	ギニア	MG	マダガスカル	TG	トーゴ
BG	ブルガリア	GR	ギリシャ	MK	マケドニア共和国	TJ	タジキスタン
BJ	ベナン	HU	ハンガリー		ラヴィア共和国	TM	トルクメニスタン
BR	ブラジル	ID	インドネシア	ML	マリ	TR	トルコ
BY	ベラルーシ	IE	アイルランド	MN	モンゴリア	TT	トリニダード・トバゴ
CA	カナダ	IL	イスラエル	MR	モリタニア	UA	ウクライナ
CC	中央アフリカ共和国	IS	アイスランド	MW	マラウイ	UG	ウガンダ
CG	コンゴ	IT	イタリア	MX	メキシコ	US	米国
CH	スイス	JP	日本	NE	ニジェール	UZ	ウズベキスタン
CI	コート・ジボアール	KE	ケニア	NL	オランダ	VN	ウイエトナム
CM	カメルーン	KG	キルギスタン	NO	ノルウェー	YU	ユーゴスラビア
CN	中国	KP	朝鮮民主主義人民共和国	NZ	ニュージーランド	ZW	ジンバブエ
CU	キューバ	KR	大韓民国	PL	ポーランド		
CZ	チェコ共和国	KZ	カザフスタン	PT	ポルトガル		
DE	ドイツ	LC	セントルシア	RO	ルーマニア		
DK	デンマーク	LI	リヒテンシュタイン	RU	ロシア連邦		
EE	エストニア	LK	スリランカ	SD	スーダン		
				SE	スウェーデン		

明 細 書

番組案内表示制御装置およびテレビジョン受像機

技術分野

本発明は、テレビジョン放送において、複数のチャンネルからユーザが希望する番組を選択するために必要な番組案内を表示する番組案内表示制御装置およびテレビジョン受像機に関する。

背景技術

米国で実用化されているDSS（デジタル衛星放送システム）においては、150以上の多数のチャンネルが用意されており、非常に多くの番組が提供されている。このシステムでは、現在放送されている番組および将来放送される番組の案内情報が本来の番組データとともに所定時間間隔で伝送されている。ユーザ側端末は、番組案内情報に基づいて、番組案内画面（番組案内表）を表示する機能を備えている。

ユーザ側端末には、図14に示すように、受信された全番組案内情報に対応する全番組案内表Eの一部の番組案内表eが番組案内画面として表示される。番組案内画面には、縦軸をチャンネル番号軸とし、横軸を時間軸として、複数の番組案内がマトリックス状に表示される。この例では、番組案内画面には、5つのチャンネルに対する番組であって、2時間半分の番組が表示される。左端には、チャンネル番号が縦に並んで表示されている。そして、各チャンネルに対応した行に、そのチャンネルによって放送される各番組の時間帯を示す枠が表示されており、各枠内にタイトル名（A～P）が表示されている。

番組案内画面上には、番組を指定したり、番組案内画面をスクロールさせたりするためのカーソルが表示される。このカーソルの移動は、左、右、上、下の各方向ごとに設けられた4つのカーソル移動キーを操作することによって行なわれる。上または下方向移動のためのカーソル移動キーを操作することにより、カーソルは、1チャンネル単位で移動する。また、左または右方向移動のためのカーソル移動キーを操作することにより、カーソルは、所定時間単位で移動する。

なお、DSSにおいて提供される番組には、DSSへの加入のための料金および基本料金等のシステム利用料を支払えば無料で見ることができる無料番組と、システム利用料とは別に課金される有料番組とがある。また、有料番組には、予めチャンネル単位で購入するものと、視聴した場合にのみ課金されるもの（PPV: pay per view）とがある。

番組案内画面を表示させるための指令等は、一般に、メニュー画面上で行なわれる。また、ユーザは、このメニュー画面上において、カテゴリー等を設定することによって、見たい番組案内を限定することができる。このような設定が行なわれた場合には、ユーザの設定内容に適合した番組の番組案内とユーザの設定内容に適合しない番組の番組案内とが識別できるように、番組案内画面が表示される。

たとえば、ユーザが特定のカテゴリーを設定した場合には、番組案内画面上においてユーザによって設定された特定のカテゴリーに属する番組に対してのみタイトル名が表示される。図4は、映画のカテゴリーが設定された場合の、番組案内画面の一例を示している。

このような番組案内画面が表示された場合においては、ユーザによって設定された特定のカテゴリーに属する番組の番組案内どうしの間で、カーソルをできるだけ速やかに移動させるようにすることが好ましい。

この発明は、番組案内画面上において、ユーザの設定内容に適合した番組の番組案内どうし間で、カーソルを速やかに移動させることができるようになる番組案内表示制御装置およびテレビジョン受像機を提供することを目的とする。

発明の開示

本発明は、縦軸および横軸の一方をチャンネル番号軸とし他方を時間軸として、複数の番組案内を表示装置にマトリックス状に表示するとともに、番組を指定するためのカーソルを表示する番組案内表示制御装置において、ユーザの設定内容に適合した番組の番組案内とユーザの設定内容に適合しない番組の番組案内とを識別できるように表示する表示制御手段、および左右または上下方向のカーソル移動指令が入力された場合には、カーソルを指定された方向にかつユーザの設定内容に適合した番組の番組案内まで移動させるカーソル制御手段を備えた番組案内表示制御装置である。

本発明の他の実施形態によると、左または右方向のカーソル移動指令が入力された場合には、カーソルを指定された方向に所定単位量だけ移動させる第1のカーソル制御手段、および上または下方向のカーソル移動指令が入力された場合には、カーソルを指定された方向にかつユーザの設定内容に適合した番組の番組案内まで移動させる第2のカーソル制御手段を備えた番組案内表示制御装置である。

本発明の更に他の実施形態によると、ユーザの設定内容に適合した番組の番組案内とユーザの設定内容に適合しない番組の番組案内とを識別できるように表示する表示制御手段、左または右方向のカーソル移動指令が入力された場合には、カーソルを指定された方向にかつユーザの設定内容に適合した番組の番組案内まで移動させる第1のカーソル制御手段、および上または下方向のカーソル移動指令が入力された場合には、カーソルを指定された方向に所定単位量だけ移動させる第2のカーソル制御手段

を備えた番組案内表示制御装置である。

また、上記各番組案内制御装置において、ユーザの設定内容に適合した番組に対してはその番組のタイトル名を表示し、ユーザの設定内容に適合しない番組に対してはその番組のタイトル名を表示しないようにすることにより、ユーザの設定内容に適合した番組の番組案内とユーザの設定内容に適合しない番組の番組案内とを識別できるように表示するようにしている。

また、上記各番組案内表示装置において、表示制御手段は、ユーザの設定内容に適合した番組のタイトル名と、ユーザの設定内容に適合しない番組のタイトル名とを書体を変えて表示することにより、ユーザの設定内容に適合した番組の番組案内とユーザの設定内容に適合しない番組の番組案内とを識別できるように表示するようにしている。

さらに、上記番組案内表示制御装置をテレビジョン受像機に備えるようにした。

そしてこの発明によれば、番組案内画面上において、ユーザの設定内容に適合した番組の番組案内どうし間で、カーソルを速やかに移動させることができるようになる。

図面の簡単な説明

第1図はユーザ側端末の構成を示すブロック図、第2図は表示テーブルを示す模式図、第3図は通常モード時における番組案内画面の表示処理手順を示すフローチャート、第4図は限定モード時の番組案内画面の一例を示す模式図、第5図は限定モード時における番組案内画面の表示処理手順を示すフローチャート、第6図は第5図のステップ21の基準セルの設定処理の詳細な手順を示すフローチャート、第7図は第5図のステップ30の左右方向のカーソル制御処理の詳細な手順を示すフローチャート、第8図は第5図のステップ31の上下方向のカーソル制御処理の詳細な手順を示すフ

ローチャート、第9図は第5図のステップ23の番組案内画像生成処理の詳細な手順を示すフローチャート、第10図は第9図のステップ83のタイトル画像の書き込み制御処理の詳細な手順を示すフローチャート、第11図は第8図のステップ72の基準セルの変更処理を説明するための説明図、第12図は上下方向のカーソル移動および左右方向のカーソル移動の一方の移動の際のみ、ユーザによって設定されているカテゴリーに属する番組の番組案内までカーソルを移動させている理由を説明するための説明図、第13図はユーザによって設定されたカテゴリーに属する番組のタイトル名と、ユーザによって設定されたカテゴリーに属さない番組のタイトル名とが、異なる書体で表示されている番組案内画面の例を示す模式図、第14図はDSSにおいて、ユーザ側端末に表示される番組案内画面を示す模式図である。

発明を実施するための最良の形態

以下、図面を参照して、この発明を米国で実用化されているDSS（デジタル衛星放送システム）に適用した場合の実施の形態について説明する。

〔1〕 ユーザ側端末の構成の説明

図1は、ユーザ側端末の構成を示している。

ユーザ側端末としては、テレビジョン受像機と番組案内表示制御装置とが組み合わされたもの、または番組案内表示制御回路が組み込まれたテレビジョン受像機が用いられる。ユーザ側端末は、ユーザ側端末全体を制御するためのCPU6を備えている。CPU6は、そのプログラムおよび必要なデータを記憶する記憶装置9を備えている。CPU6には、リモートコントローラ等からなる操作部5が接続されている。CPU6は、操作部5によって選択された番組を表示するためにチューナ2を制御するとともに番組案内画像を生成するための番組案内画像生成回路4を制御する。

入力端子 1 には、図示しないパラボラアンテナからの高周波信号が入力される。入力端子 1 に入力された信号はチューナ 2 に送られる。チューナでは、周波数変換、QPSK 復調等の処理が行われ、デジタル映像信号のストリームが生成される、チューナ 2 の出力は、映像処理回路 3 に送られる。

映像処理回路 3 では、チューナ 2 から出力されたストリームが MPEG デコードされ、CRT 等の表示器 8 に表示するためのアナログ映像信号、たとえば NTSC 信号が生成される。この映像信号は、マルチプレクサ 7 を介して表示器 8 に送られることにより、表示器 8 上に表示される。

さらに、映像処理回路 3 は、チューナ 2 の出力から番組案内情報を抽出して、CPU 6 に供給する。CPU 6 に供給された番組案内情報は、記憶装置 9 に記憶される。記憶装置 9 には、さらに、メニュー画面等の各種設定画面を表示させるための設定画面情報が予め記憶されているとともに、購入された番組に関する情報等が記憶される。

番組案内画像生成回路 4 は、表示メモリ（図示略）を備えている。番組案内画像生成回路 4 では、記憶装置 9 に記憶されている設定画面情報、番組案内情報等に基づいて、各種設定画像および番組案内画像が表示メモリ上に作成される。そして、表示メモリ上に作成された画像が逐次読み出され、マルチプレクサ 7 を介して表示器 8 に送られることにより、表示器 8 上に表示される。マルチプレクサ 7 は、CPU 6 からの制御信号に基づいて、映像処理回路 3 の出力および番組案内画像生成回路 4 の出力のうちの一方を選択して表示器 8 に供給する。

操作部 5 には、メニュー画面を表示させるためのメニューキー 11、カーソルを左右方向および上下方向に移動させるための 4 つのカーソル移動キー 12 L、12 R、12 U、12 D、選択入力を行なうためのセレクトキー 13 等が設けられている。ユーザは、番組案内画面を見たい場合には、メニューキー 11 を操作することによって

メニュー画面を表示させた後、カーソル移動キー 1 2 L、1 2 R、1 2 U、1 2 D およびセレクトキー 1 3 を操作することによって、番組案内を選択すればよい。

また、ユーザは、このメニュー画面上において、カテゴリー等を設定することによって、見たい番組案内を限定することができる。このような設定が行なわれた場合には、ユーザの設定内容に適合した番組の番組案内とユーザの設定内容に適合しない番組の番組案内とが識別できるように、番組案内画面が表示される。

たとえば、ユーザが特定のカテゴリーを設定した場合には、番組案内画面上においてユーザによって設定された特定のカテゴリーに属する番組に対してのみタイトル名が表示される。図 4 は、映画のカテゴリーが設定された場合の、番組案内画面の一例を示している。

以下の説明においては、見たい番組案内が限定されていない場合の番組案内画面の表示モードを通常モードといい、見たい番組案内が限定されている場合の番組案内画面の表示モードを限定モードということにする。

〔2〕通常モード時における番組案内画面の表示処理についての説明

通常モード時において番組案内画面を表示させるための処理について説明する。受信機に送られてくる番組案内情報には、たとえば、現在時刻から 2 4 時間先の時刻までの、全チャンネルに対する各番組の案内情報が含まれている。1 番組の番組案内情報は、タイトル名、PPV 番組である場合にはその料金（レーティング）、カテゴリー（スポーツ、音楽、ドラマ、ニュース等）、開始および終了時刻等から構成されている。

CPU 6 は、全チャンネルに対する各番組の案内情報を、図 1 4 の上側に示すように、縦方向がチャンネル番号であり、横方向が時間である 2 次元の配列情報とみなして、チャンネル番号と時刻を示すスロット番号とを用いてアクセスできるようなイン

デックステーブルを生成する。スロット番号は、たとえば、30分単位ごとに付けられた番号である。なお、図14の上側に示された全番組案内情報に対応する2次元配列の領域Eを、全番組案内領域ということにする。

番組案内表示が操作部5によって選択された場合には、直前に選択されていたチャンネル番号と現在時刻とインデックステーブルとに基づいて、CPU6は、図2に示すような表示テーブルを生成する。図2において、最も左の1列を除く領域内の各小領域（以下、セルという）に、番組案内表示情報が格納される。したがって、この例では、5チャンネル×5セル（2時間半に相当する）分の番組案内に対応する表示テーブルが作成される。最も左側の1列の各セルには、チャンネル番号（絶対的なチャンネル番号）またはそのチャンネル番号に対応する局名のデータが格納される。

図2において、各セル毎にインデックスとして記載された（x，y）のxは、チャンネル相対番号（表示テーブル内の各セル間での相対的なチャンネル番号であり、絶対的なチャンネル番号ではない）を示し、yはスロット相対番号（表示テーブル内の各セル間での相対的なスロット番号であり、絶対的なスロット番号ではない）を示している。最上段の左から2つ目のセルS0を基準セルということにする。通常モード時においては、基準セルS0には、直前に選択されていたチャンネル番号と現在時刻に対応する番組案内表示情報が格納される。

各セルに格納される番組案内表示情報は、タイトル名、専有セル数、レーティング、購入済か否かを表す情報、カテゴリー等からなる。専有セル数とは、当該セルから当該番組が終了するセルまでに含まれているセル数をいう。したがって、当該セルで当該番組が終了する場合には、専有セル数は1となる。このように作成された表示テーブルに基づいて、番組案内画像生成回路4は、図14に下側に示すような番組案内画面に対応する画像を表示メモリ上に生成する。そして、表示メモリ上に生成された画

像が表示器 8 に送られることにより、図 1-4 に下側に示すような番組案内画面が表示器 8 に表示される。

図 3 は、通常モード時において、CPU 6 および番組案内画像生成回路 4 によって実行される番組案内画面の表示処理の手順を示している。

通常モード時において、番組案内が操作部 5 によって選択されると、直前に選択されていたチャンネル番号および現在時刻が読み込まれ、全番組案内領域 E (図 1-4 参照) から基準セルが設定される (ステップ 1)。

設定された基準セルとインデックステーブルとに基づいて、図 2 の表示テーブルが作成される (ステップ 2)。

この表示テーブル内の情報が CPU 6 から番組案内画像生成回路 4 に送られる。番組案内画像生成回路 4 では、送られてきた情報に基づいて、番組案内画像生成処理が行なわれる (ステップ 3)。つまり、番組案内画像が表示メモリ上に生成される。表示メモリ上に生成された番組案内画像が逐次読み出されて表示器 8 に送られることにより、表示器 8 に番組案内画面が表示される。その後、キー入力待ち状態となる。

セレクトキー 1-3 によるセレクトキー入力があった場合には (ステップ 4 で YES)、番組選択、番組予約等の所定の選択処理が実行される。

カーソル移動キー 1-2 L、1-2 R、1-2 U、1-2 D によるカーソルキー入力があったときには (ステップ 5 で YES)、操作されたカーソル移動キー 1-2 L、1-2 R、1-2 U、1-2 D に応じて、ステップ 6、7、8 または 9 の処理が行なわれる。

つまり、操作されたキーが左移動キー 1-2 L である場合には、ステップ 6 に進み、全番組案内領域 E の左端から左方向への移動が指令されたか否かが判定される。操作されたキーが右移動キー 1-2 R である場合には、ステップ 7 に進み、全番組案内領域 E の右端から右方向への移動が指令されたか否かが判定される。操作されたキーが上

移動キー 12J である場合には、ステップ 8 に進み、全番組案内領域 E の上端から上方向への移動が指令されたか否かが判定される。操作されたキーが下移動キー 12D である場合には、ステップ 9 に進み、全番組案内領域 E の下端から下方向への移動が指令されたか否かが判定される。

全番組案内領域 E の左端から左方向への移動が指令された場合（ステップ 6 で YES）、全番組案内領域 E の右端から右方向への移動が指令された場合（ステップ 7 で YES）、全番組案内領域 E の上端から上方向への移動が指令された場合（ステップ 8 で YES）または全番組案内領域 E の下端から下方向への移動が指令された場合（ステップ 9 で YES）には、すなわち、全番組案内領域 E の外側への移動指令である場合には、カーソルを移動させることができないので、ステップ 4 に戻りキー入力待ち状態となる。

カーソルキー入力によるカーソル移動指令が、全番組案内領域内での移動指令である場合には、カーソルの移動先の位置が算出される（ステップ 10）。カーソル移動指令が左右方向の移動指令である場合には、移動量を左右方向の 1 セル分（1 スロット分）として、カーソルの移動先の位置が算出される。カーソル移動指令が上下方向の移動指令の場合には、移動量を上下方向の 1 セル分（1 スロット分）として、カーソルの移動先の位置が算出される。そして、カーソル移動先の位置が、表示器 8 に表示されている番組案内画面内か否かが判定される（ステップ 11）。

カーソル移動先の位置が、表示器 8 に表示されている番組案内画面内である場合には、カーソルが移動先の位置に表示されるように、表示メモリ内のカーソル画像が移動せしめられる（ステップ 12）。

カーソル移動先の位置が、表示器 8 に表示されている番組案内画面の外側である場合には、番組案内画面を変更（スクロール）させるために、基準セルの変更処理が行

なわれる（ステップ13）。この基準セルの変更処理においては、全番組案内領域11のうち、現在の基準セルに対してカーソル移動方向にカーソル移動量だけ離れた位置が新たな基準セルとされる。基準セルの変更処理によって新たな基準セルが設定されると、ステップ2に戻る。したがって、新たに設定された基準セルに基づいて、図2の表示テーブルが作成され、新たな番組案内画面が表示器8に表示される。つまり、番組案内画面が更新される。

〔3〕 限定モード時における番組案内画面の表示処理についての説明

限定モード時において番組案内画面を表示させるための処理について説明する。ここでは、ユーザによって特定のカテゴリーが設定され、図4に示すような番組案内画像が表示される場合を例にとりて説明する。

図5は、限定モード時において、CPU6および番組案内画像生成回路4によって実行される番組案内画面の表示処理の手順を示している。

限定モード時において、番組案内が操作部5によって選択されると、基準セルの設定処理が行なわれる（ステップ21）。ここでは、通常モード時と異なり、全番組案内領域11のうち、現在時刻に応じた時間帯で放送される番組であって、かつユーザによって設定されているカテゴリーに属する1つの番組に対応する領域が基準セルとして設定される。この処理の詳細については、後述する。

基準セルが設定されると、通常モード時と同様に、設定された基準セルとインデックステーブルとに基づいて、表示テーブル（図2参照）が作成される（ステップ22）。

この表示テーブル内の情報がCPU6から番組案内画像生成回路4に送られる。番組案内画像生成回路4では、送られてきた情報に基づいて、番組案内画像生成処理が行なわれる（ステップ23）。つまり、番組案内画像が表示メモリ上に生成される。ただし、この際、ユーザによって設定されたカテゴリーに属さない番組のタイトル画

像は表示メモリ上に生成されない。表示メモリ上に生成された番組案内画像が逐次読み出されて表示器8に送られることにより、表示器8に番組案内画面が表示される。この後、キー入力待ち状態となる。ステップ23の処理の詳細については、後述する。

セレクトキー13によるセレクトキー入力があった場合には（ステップ24でYES）、番組選択、番組予約等の所定の選択処理が実行される。

カーソル移動キー12L、12R、12U、12Dによるカーソルキー入力があったときには（ステップ25でYES）、操作されたカーソル移動キー12L、12R、12U、12Dに応じて、ステップ26、27、28または29の処理が行なわれる。

つまり、操作されたキーが左移動キー12Lである場合には、ステップ26に進み、全番組案内領域Eの左端から左方向への移動が指令されたか否かが判定される。操作されたキーが右移動キー12Rである場合には、ステップ27に進み、全番組案内領域Eの右端から右方向への移動が指令されたか否かが判定される。操作されたキーが上移動キー12Uである場合には、ステップ28に進み、全番組案内領域Eの上端から上方向への移動が指令されたか否かが判定される。操作されたキーが下移動キー12Dである場合には、ステップ29に進み、全番組案内領域Eの下端から下方向への移動が指令されたか否かが判定される。

全番組案内領域Eの左端から左方向への移動が指令された場合（ステップ26でYES）、全番組案内領域Eの右端から右方向への移動が指令された場合（ステップ27でYES）、全番組案内領域Eの上端から上方向への移動が指令された場合（ステップ28でYES）または全番組案内領域Eの下端から下方向への移動が指令された場合（ステップ29でYES）には、すなわち、全番組案内領域Eの外側への移動指令である場合には、カーソルを移動させることができないので、ステップ24に戻りキー入力待ち状態となる。

操作されたキーが左移動キー 1 2 L または右移動キー 1 2 R であり、カーソル移動指令が全番組案内領域 E 内での移動指令である場合には（ステップ 2 6 または 2 7 で NO）、左右方向のカーソル移動処理が実行される（ステップ 3 0）。この実施の形態では、左右方向のカーソル移動処理においては、カーソルが左右方向に 1 セル分だけ移動せしめられる。この処理の詳細については、後述する。

操作されたキーが上移動キー 1 2 U または下移動キー 1 2 D であり、カーソル移動指令が全番組案内領域 E 内での移動指令である場合には（ステップ 2 8 または 2 7 で NO）、上下方向のカーソル移動処理が実行される（ステップ 3 1）。この実施の形態では、上下方向のカーソル移動処理においては、ユーザによって設定されているカテゴリーに属する番組案内まで、カーソルが上下方向に移動せしめられる。この処理の詳細については、後述する。

図 6 は、図 5 のステップ 2 1 の基準セルの設定処理の手順を示している。

基準セルの設定処理においては、まず、チャンネル番号を表す変数 CH-NUM として、直前に選択されていたチャンネル番号が設定される（ステップ 4 1）。

次に、変数 CH-NUM で表されるチャンネル番号と現在時刻とインデックステーブルとに基づいて、全番組案内領域 E から基準セルが仮決定される（ステップ 4 2）。

そして、仮決定された基準セルに対応する番組案内情報が記憶手段 9 から読み込まれる（ステップ 4 3）。そして、読み込まれた番組案内情報に基づいて、当該基準セルに対応する番組のカテゴリーがユーザによって設定されているカテゴリーと一致するか否かが判定される（ステップ 4 4）。

当該基準セルに対応する番組のカテゴリーがユーザによって設定されているカテゴリーと異なっている場合には、チャンネル番号を表す変数 CH-NUM の値が 1 だけインクリメントされる（ステップ 4 5）。つまり、変数 CH-NUM の値が更新される。そし

て、ステップ42に戻り、更新された変数 CH-NUM で表されるチャンネル番号と現在時刻とに基づいて、全番組案内領域Eから基準セルが仮決定され、仮決定されたセルに対して、ステップ43および44の処理が行なわれる。

ステップ44において、ステップ42によって仮決定された基準セルに対応する番組のカテゴリがユーザによって設定されているカテゴリと一致すると判定された場合には、仮決定された当該基準セルが正式な基準セルとして設定される（ステップ46）。つまり、全番組案内領域Eのうち、現在時刻に応じた時間帯で放送される番組であって、かつユーザによって設定されているカテゴリに属する1つの番組に対応する領域が基準セルとして設定される。

なお、ステップ45によって変数 CH-NUM が更新された結果、変数 CH-NUM の値がチャンネル番号の最大値を越えた場合には、通常モード時と同様に、番組案内画面の表示指令が出される直前において選択されていたチャンネル番号と現在時刻とに対応する位置が基準セルとして選択される。

図7は、図5のステップ30の左右方向のカーソル移動処理の手順を示している。

まず、カーソル移動量を左右方向の1セル分（1スロット分）として、カーソルの移動先の位置が算出される（ステップ51）。そして、カーソル移動先の位置が、表示器8に表示されている番組案内画面内か否かが判定される（ステップ52）。

カーソル移動先の位置が、表示器8に表示されている番組案内画面内である場合には、カーソルが移動先の位置に表示されるように、表示メモリ内のカーソル画像が移動せしめられる（ステップ53）。そして、図5のステップ24に戻り、キー入力待ちとなる。

カーソル移動先の位置が、表示器8に表示されている番組案内画面の外側である場合には、番組案内画面を変更（スクロール）させるために、基準セルの変更処理が行

なわれる（ステップ54）。この基準セルの変更処理においては、全番組案内領域Eのうち、現在の基準セルに対してカーソル移動方向にカーソル移動量だけ離れた位置が新たな基準セルとされる。基準セルの変更処理によって新たな基準セルが設定されると、図5のステップ22に戻る。したがって、新たに設定された基準セルに基づいて、図2の表示テーブルが作成され、新たな番組案内画面が表示器8に表示される。つまり、番組案内画面が更新される。

図8は、図5のステップ31の上下方向のカーソル移動処理の手順を示している

まず、現在位置からのカーソル移動量を上下方向の1セル分（1チャンネル分）として、カーソル移動先の位置が算出される（ステップ61）。そして、カーソル移動先の位置が、表示器8に表示されている番組案内画面内か否かが判定される（ステップ62）

カーソル移動先の位置が、表示器8に表示されている番組案内画面内である場合には、表示テーブルに基づいて、カーソル移動先の位置に対応するセルから番組案内表示情報が読み込まれる（ステップ63）。そして、読み込まれた番組案内表示情報に基づいて、カーソル移動先のセルに対応する番組のカテゴリがユーザによって設定されているカテゴリと一致するか否かが判定される（ステップ64）

カーソル移動先のセルに対応する番組のカテゴリがユーザによって設定されているカテゴリと異なっている場合には、カーソル移動先の位置が現在位置として設定される（ステップ65）。この後、ステップ61に戻り、新たに設定された現在位置に対するカーソル移動先の位置が算出され、算出されたカーソル移動先の位置に基づいて、ステップ62以降の処理が行なわれる。

上記ステップ64において、カーソル移動先のセルに対応する番組のカテゴリがユーザによって設定されているカテゴリと一致すると判定された場合には、カーソ

ルが移動先の位置に表示されるように、表示メモリ内のカーソル画像が移動せしめられる（ステップ66）。つまり、カーソル移動キー12J、12Dの一回の操作によって、ユーザによって設定されているカテゴリに属する番組の番組案内にカーソルが移動する。この後、図5のステップ24に戻り、キー入力待ちとなる。

上記ステップ62において、ステップ61によって算出されたカーソル移動先の位置が、表示器8に表示されている番組案内画面の外側であると判定された場合には、全番組案内領域Eにおけるカーソル現在位置が算出される（ステップ67）。そして、現在位置からのカーソル移動量を1チャンネル分として、全番組案内領域E内におけるカーソル移動先の位置が算出される（ステップ68）。

そして、インデックステーブルに基づいて、カーソル移動先の位置に対応する番組案内情報が読み込まれる（ステップ69）。そして、読み込まれた番組案内情報に基づいて、カーソル移動先の位置に対応する番組のカテゴリがユーザによって設定されているカテゴリと一致するか否かが判定される（ステップ70）。

カーソル移動先の位置に対応する番組のカテゴリがユーザによって設定されているカテゴリと異なっている場合には、カーソル移動先の位置が現在位置として設定される（ステップ71）。この後、ステップ68に戻り、新たに設定された現在位置に対するカーソル移動先の位置が算出され、算出されたカーソル移動先の位置に基づいて、ステップ69以降の処理が行なわれる。

上記ステップ70において、カーソル移動先の位置に対応する番組のカテゴリがユーザによって設定されているカテゴリと一致すると判定された場合には、番組案内画面を変更（スクロール）させるために、基準セルの変更処理が行なわれる（ステップ72）。この基準セルの変更処理においては、全番組案内領域Eのうち、チャンネル番号が、カーソル移動先の位置に対応するチャンネル番号であり、スロット番号

が現在表示されている番組案内画面での基準セルのスロット番号である領域が基準セルとされる。

したがって、図11に示すように、番組案内画面e内の番組案内A上にカーソルがある場合に、上方向移動キー12じが操作された場合には、カーソル移動先は番組案内画面eの外側の位置Bとなり、基準セルは現在の基準セルS₀から位置cに対応するセルに変更せしめられる。

基準セルの変更処理によって新たな基準セルが設定されると、図5のステップ22に戻る。したがって、新たに設定された基準セルに基づいて、図2の表示テーブルが作成され、新たな番組案内画面が表示器8に表示される。つまり、番組案内画面が更新される。この結果、ユーザによって設定されているカテゴリーに属する番組の番組案内にカーソルが移動する。

図9は、図5のステップ23の番組案内画像生成処理の詳細な手順を示している。

まず、表示テーブル内の各番組毎に、占有セル数に基づいて、各番組の占有時間に応じた大きさの枠画像が表示メモリに書き込まれる（ステップ81）。次に、カーソル画像が表示メモリに書き込まれる（ステップ82）。この後、タイトル名を表す画像（タイトル画像）の書き込み制御処理が行なわれる（ステップ83）。

図10は、図9のステップ83のタイトル画像の書き込み制御処理の手順を示している。

まず、スロット相対番号を表す変数 SLOT-NUM に1が設定される（ステップ91）。

また、チャンネル相対番号を表す変数 LINE-NUM に1が設定される（ステップ92）。

変数 SLOT-NUM と変数 LINE-NUM とによって特定されるセルを注目セルとし、注目セルに対する番組案内表示情報が表示テーブルから読み込まれる（ステップ93）。そして、読み込まれた番組案内表示情報に基づいて、注目セルに対応する番組のカテゴリ

リーが、ユーザによって設定されているカテゴリーと一致するか否かが判定される (ステップ 94)。

注目セルに対応する番組のカテゴリーが、ユーザによって設定されているカテゴリーと一致すると判定された場合には、当該セルに対応する番組のタイトル画像が表示メモリに書き込まれる (ステップ 95)。そして、ステップ 96に進む。

注目セルに対応する番組のカテゴリーが、ユーザによって設定されているカテゴリーと異なると判定された場合には、当該セルに対応する番組のタイトル画像の書き込みを行なうことなく、ステップ 96に移行する。

ステップ 96においては、チャンネル相対番号を表す変数 LINE-NUM が 1 だけインクリメントされる。つまり、変数 LINE-NUM が更新される。そして、更新された変数 LINE-NUM が 5 より大きいかが判定される (ステップ 97)。更新された変数 LINE-NUM が 5 以下である場合には (ステップ 97 で NO)、ステップ 93 に戻り、更新された変数 LINE-NUM と現在設定されている変数 SLOT-NUM とによって特定されるセルに対して、ステップ 93 ~ 97 の処理が再度実行される。

このようにして、1つのスロット相対番号 SLOT-NUM と、1~5のチャンネル相対番号 LINE-NUM とで特定される5つのセルに対して、ステップ 93 ~ 97 の処理が実行されると、ステップ 97 で YES となり、ステップ 98に進む。

ステップ 98においては、スロット相対番号を表す変数 SLOT-NUM が 1 だけインクリメントされる。つまり、変数 SLOT-NUM が更新される。そして、更新された変数 SLOT-NUM が 5 より大きいかが判定される (ステップ 99)。更新された変数 SLOT-NUM が 5 以下である場合には (ステップ 99 で NO)、ステップ 92 に戻り、更新された変数 SLOT-NUM を用いて、ステップ 92 ~ 97 の処理が再度実行される。

このようにして、1~5のスロット相対番号 SLOT-NUM と、1~5のチャンネル相

対番号 LINE-NUM とで特定される 25 個のセル、すなわち、表示テーブル内の左端の欄を除く他の全てのセルに対して、ステップ 93～99 の処理が実行されると、ステップ 99 で YES となり、タイトル画像の書き込み制御処理は終了する。

上記実施の形態では、左右方向のカーソル移動処理（図 5 のステップ 30）において、カーソルが左右方向に 1 セル分だけ移動せしめられ、上下方向のカーソル移動処理（図 5 のステップ 31）において、ユーザによって設定されているカテゴリーに属する番組の番組案内まで、カーソルが上下方向に移動せしめられている。しかしながら、左右方向のカーソル移動処理において、ユーザによって設定されているカテゴリーに属する番組の番組案内まで、カーソルを左右方向に移動させ、上下方向のカーソル移動処理において、カーソルを上下方向に 1 セル分だけ移動させるようにしてもよい。

上下方向のカーソル移動および左右方向のカーソル移動の一方の移動の際のみ、ユーザによって設定されているカテゴリーに属する番組の番組案内までカーソルを移動させているのは、次の理由による。ユーザによって設定されているカテゴリーに属する番組の番組案内が番組案内画面上で図 12 に示すように配置されている場合を想定する。図 12 において、A、B、C、D、E が、ユーザによって設定されているカテゴリーに属する番組の番組案内である。上下方向のカーソル移動および左右方向のカーソル移動の両方の移動の際に、ユーザによって設定されているカテゴリーに属する番組の番組案内までカーソルを移動させるとすると、番組案内 A から番組案内 C にカーソルを移動できなくなってしまう。

これに対し、カーソルの左右方向移動時にカーソルを左右方向に 1 セル分だけ移動させ、カーソルの上下方向移動時にカーソルをユーザによって設定されているカテゴリーに属する番組の番組案内まで移動させる方法では、まず、カーソルを右方向移動に

より、番組案内Cと同じスロット番号まで移動させた後、カーソルを下方方向に移動させればよい。

また、カーソルの左右方向移動時にユーザによって設定されているカテゴリーに属する番組の番組案内まで移動させ、カーソルの上下方向移動時にカーソルを上下方向に1セル分だけ移させる方法では、まず、カーソルを下方方向移動により、番組案内Cと同じチャンネル番号まで移動させた後、カーソルを右方向に移動させればよい。

上記実施の形態では、限定モード時において、ユーザによって設定されたカテゴリーに属する番組を全く含まないチャンネルについても、空白の番組案内が表示されているが、限定モード時において、ユーザによって設定されたカテゴリーに属する番組を全く含まないチャンネルについては、その番組案内を表示しないようにしてもよい。つまり、ユーザによって設定されたカテゴリーに属する番組を1つでも含むチャンネルに対する各番組の番組案内情報のみを抽出して、ユーザによって設定されたカテゴリーに属する番組を1つでも含むチャンネルに対する各番組の番組案内情報のみからなるテーブルを作成する。そして、このテーブルに基づいて、基準セルの設定および表示テーブルの作成を行う。したがって、この場合には、全番組案内領域とは、ユーザによって設定されたカテゴリーに属する番組を1つでも含むチャンネルに対する各番組の番組案内情報によって規定される領域となる。

また、基準セルの設定においては、ユーザによって設定されたカテゴリーに属する番組を1つでも含むチャンネルに対する各番組の番組案内情報によって規定される領域のうち、現在時刻に応じた時間帯で放送される番組であって、直前に選択されていたチャンネル番号に最も近いチャンネル番号に対応する領域が基準セルとして設定される。したがって、この場合には、図6で説明した基準セルの設定とは異なり、ユーザによって設定されているカテゴリーに属さない番組に対応する領域が基準セルとし

で設定されることもある。なお、ユーザによって設定されたカテゴリーに属する番組を一つでも含むチャンネルが全く存在しない場合には、その旨を表示し、ユーザに当該カテゴリー設定が無意味であることを通知すればよい。

このように上記実施の形態では、上下方向のカーソル移動および左右方向のカーソル移動の一方の移動の際のみ、ユーザによって設定されているカテゴリーに属する番組の番組案内までカーソルを移動させているようにしたが、上下方向のカーソル移動および左右方向のカーソル移動のいずれの移動の際も、ユーザによって設定されているカテゴリーに属する番組の番組案内までカーソルを移動させているようにしてもよい。その場合、上記図12の説明でしたように番組案内Aから番組案内Cにカーソルを移動させるような場合は、目標とする（選択しようとする）番組案内の近傍の番組案内Bまで移動させて、その後、通常モードの状態に切り換えてからカーソルを1セル分ずつ移動させて目標とする番組案内Cを選択するようにしてもよい。

上記実施の形態では、ユーザによってカテゴリーが設定された場合には、ユーザによって設定されたカテゴリーに属する番組のタイトル名のみが表示され、ユーザによって設定されたカテゴリーに属さない番組のタイトル名は表示されていないが、図13に示すように、ユーザによって設定されたカテゴリーに属する番組のタイトル名と、ユーザによって設定されたカテゴリーに属さない番組のタイトル名を、書体（フォント）を変えて表示するようにしてもよい。このような場合にも、この発明を適用することができる。

この発明によれば、番組案内画面上において、ユーザの設定内容に適合した番組の番組案内どうし間で、カーソルを速やかに移動させることができるようになる。

産業上の利用可能性

本発明は、テレビジョン受像機等の番組案内表示制御装置に実施して好適なものである。

請 求 の 範 囲

1. 縦軸および横軸の一方をチャンネル番号軸とし他方を時間軸として、複数の番組案内を表示装置にマトリックス状に表示するとともに、番組を指定するためのカーソルを表示する番組案内表示制御装置において、

ユーザの設定内容に適合した番組の番組案内とユーザの設定内容に適合しない番組の番組案内とを識別できるように表示する表示制御手段、および

左右または上下方向のカーソル移動指令が入力された場合には、カーソルを指定された方向にかつユーザの設定内容に適合した番組の番組案内まで移動させるカーソル制御手段、

を備えていることを特徴とする番組案内表示制御装置。

2. 縦軸および横軸の一方をチャンネル番号軸とし他方を時間軸として、複数の番組案内を表示装置にマトリックス状に表示するとともに、番組を指定するためのカーソルを表示する番組案内表示制御装置において、

ユーザの設定内容に適合した番組の番組案内とユーザの設定内容に適合しない番組の番組案内とを識別できるように表示する表示制御手段、

左または右方向のカーソル移動指令が入力された場合には、カーソルを指定された方向に所定単位量だけ移動させる第1のカーソル制御手段、および

上または下方向のカーソル移動指令が入力された場合には、カーソルを指定された方向にかつユーザの設定内容に適合した番組の番組案内まで移動させる第2のカーソル制御手段、

を備えていることを特徴とする番組案内表示制御装置。

3. 縦軸および横軸の一方をチャンネル番号軸とし他方を時間軸として、複数の番組

組案内を表示装置にマトリックス状に表示するとともに、番組を指定するためのカーソルを表示する番組案内表示制御装置において、

ユーザの設定内容に適合した番組の番組案内とユーザの設定内容に適合しない番組の番組案内とを識別できるように表示する表示制御手段、

左または右方向のカーソル移動指令が入力された場合には、カーソルを指定された方向にかつユーザの設定内容に適合した番組の番組案内まで移動させる第1のカーソル制御手段、および

上または下方向のカーソル移動指令が入力された場合には、カーソルを指定された方向に所定単位量だけ移動させる第2のカーソル制御手段、

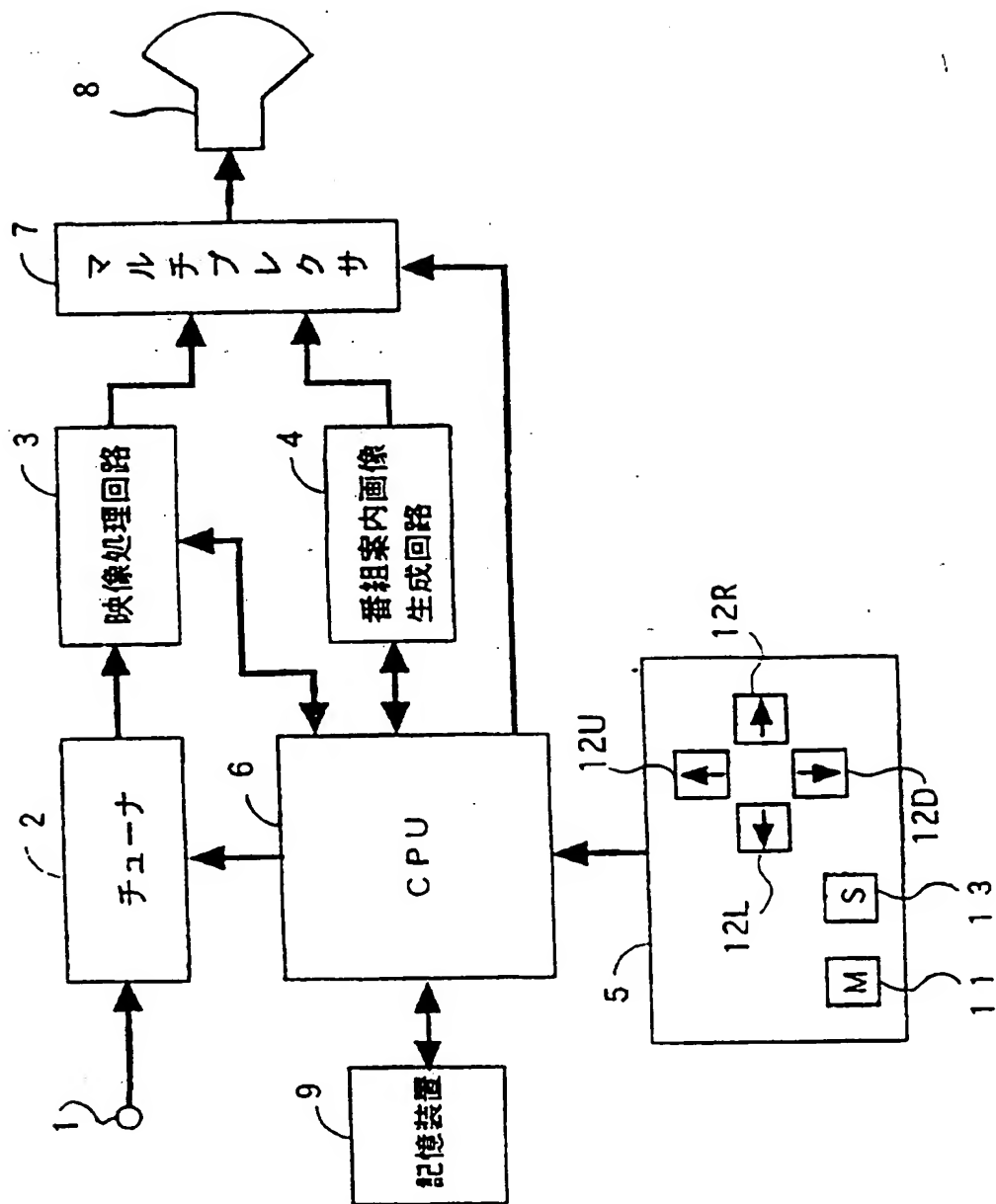
を備えていることを特徴とする番組案内表示制御装置

4. 表示制御手段は、ユーザの設定内容に適合した番組に対してはその番組のタイトル名を表示し、ユーザの設定内容に適合しない番組に対してはその番組のタイトル名を表示しないようにすることにより、ユーザの設定内容に適合した番組の番組案内とユーザの設定内容に適合しない番組の番組案内とを識別できるように表示するものである特許請求の範囲第1項、第2項、および第3項いずれかに記載の番組案内表示制御装置

5. 表示制御手段は、ユーザの設定内容に適合した番組のタイトル名と、ユーザの設定内容に適合しない番組のタイトル名とを書体を変えて表示することにより、ユーザの設定内容に適合した番組の番組案内とユーザの設定内容に適合しない番組の番組案内とを識別できるように表示するものである特許請求の範囲第1項、第2項、および第3項のいずれかに記載の番組案内表示制御装置

6. 特許請求の範囲第1項、第2項、第3項、第4項、および第5項のいずれかに記載の番組案内表示制御装置を備えているテレビジョン受像機

第1図

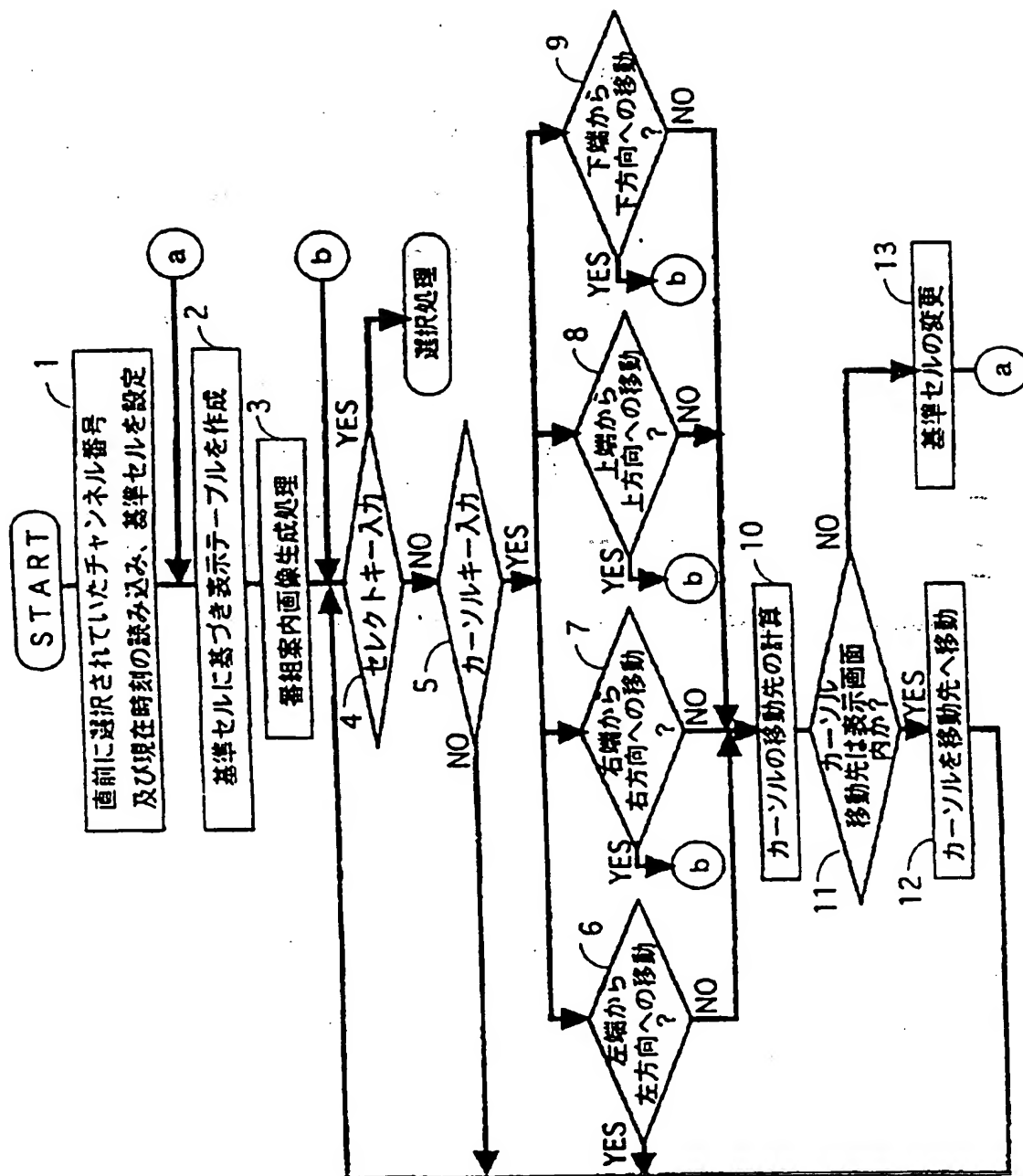


第2図

S o

(1, 0)	(1, 1)	(1, 2)	(1, 3)	(1, 4)	(1, 5)
(2, 0)	(2, 1)	(2, 2)	(2, 3)	(2, 4)	(2, 5)
(3, 0)	(3, 1)	(3, 2)	(3, 3)	(3, 4)	(3, 5)
(4, 0)	(4, 1)	(4, 2)	(4, 3)	(4, 4)	(4, 5)
(5, 0)	(5, 1)	(5, 2)	(5, 3)	(5, 4)	(5, 5)

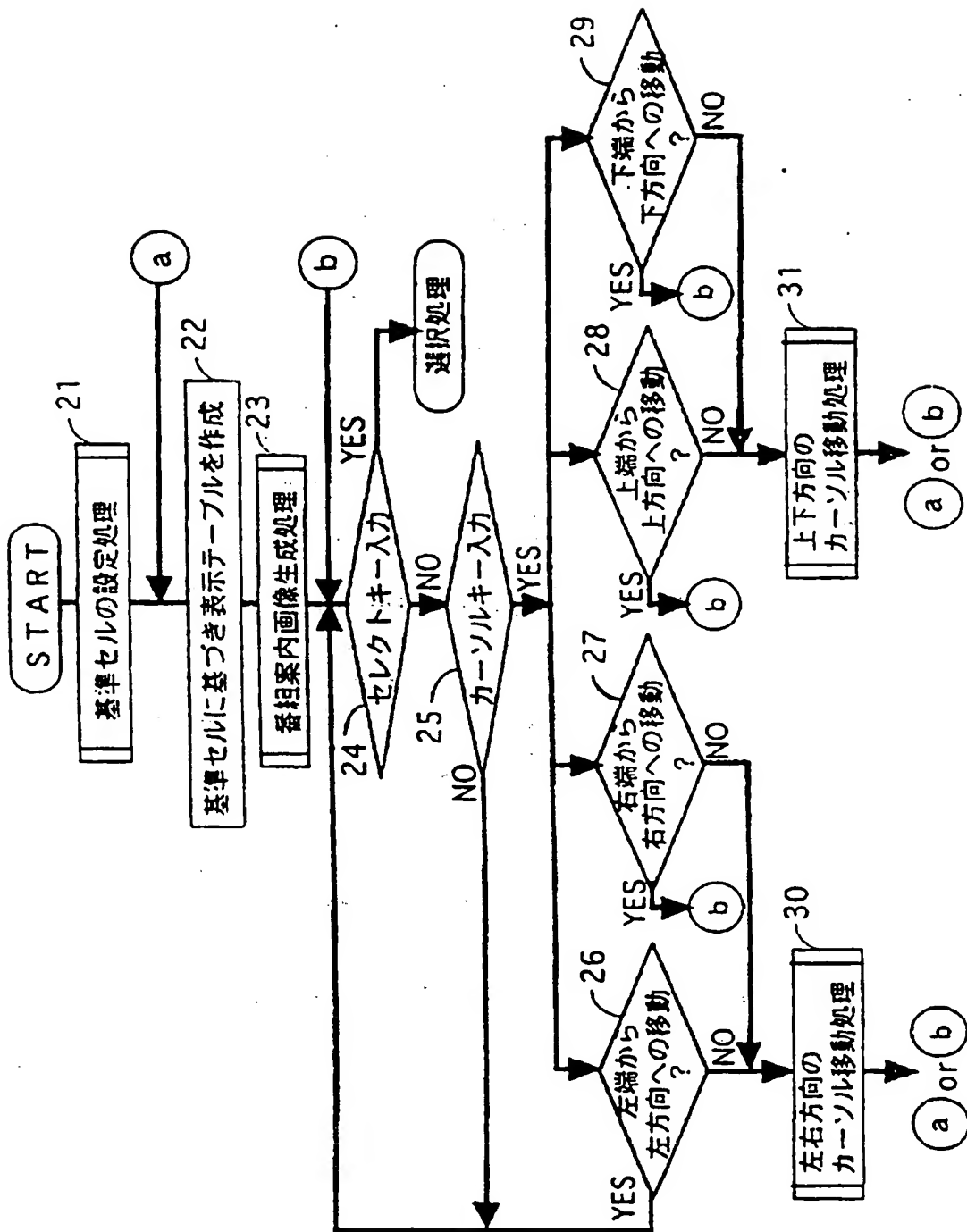
第3図



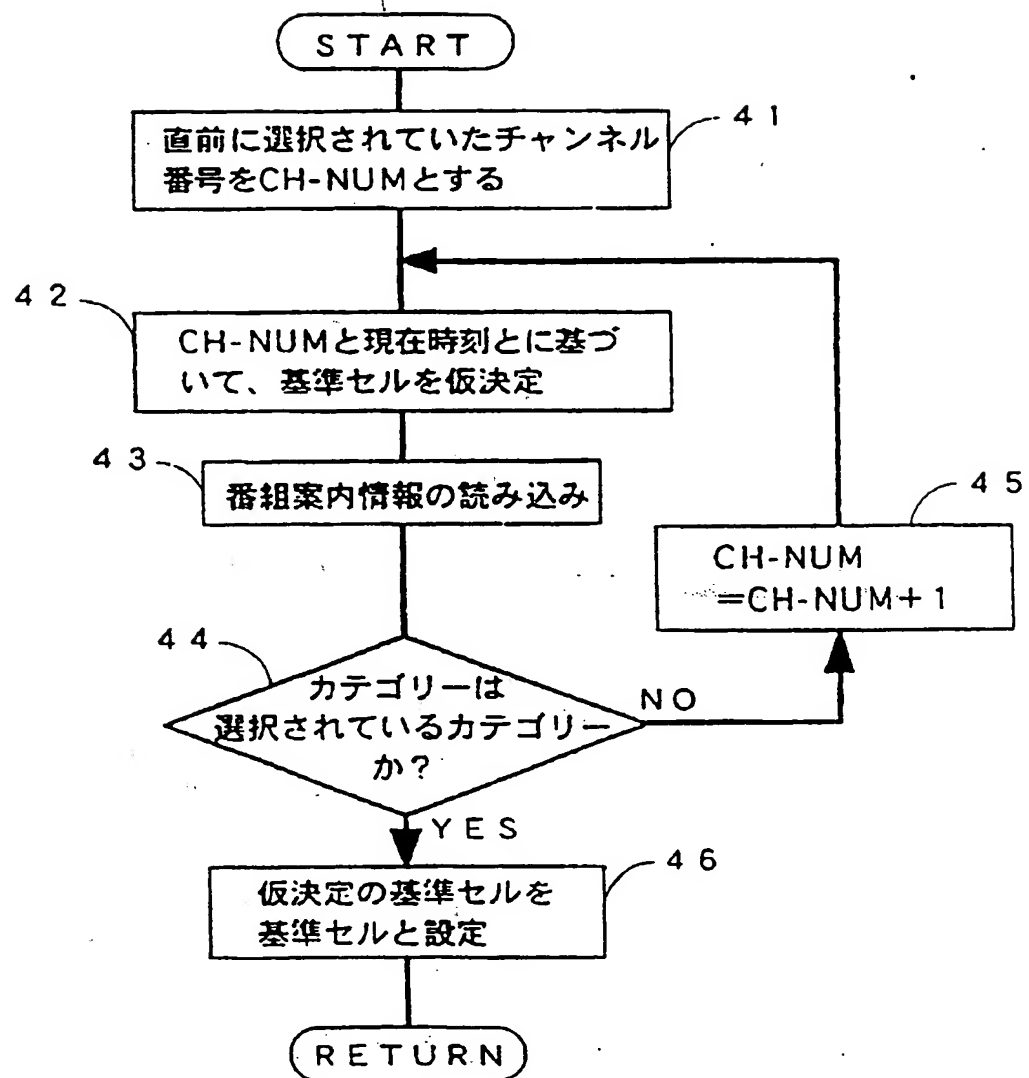
第4図

	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00
CH. 2	ニクソン		フォレスト ガンプ		
CH. 4					
CH. 6	サブリナ				
CH. 8					
CH. 10					

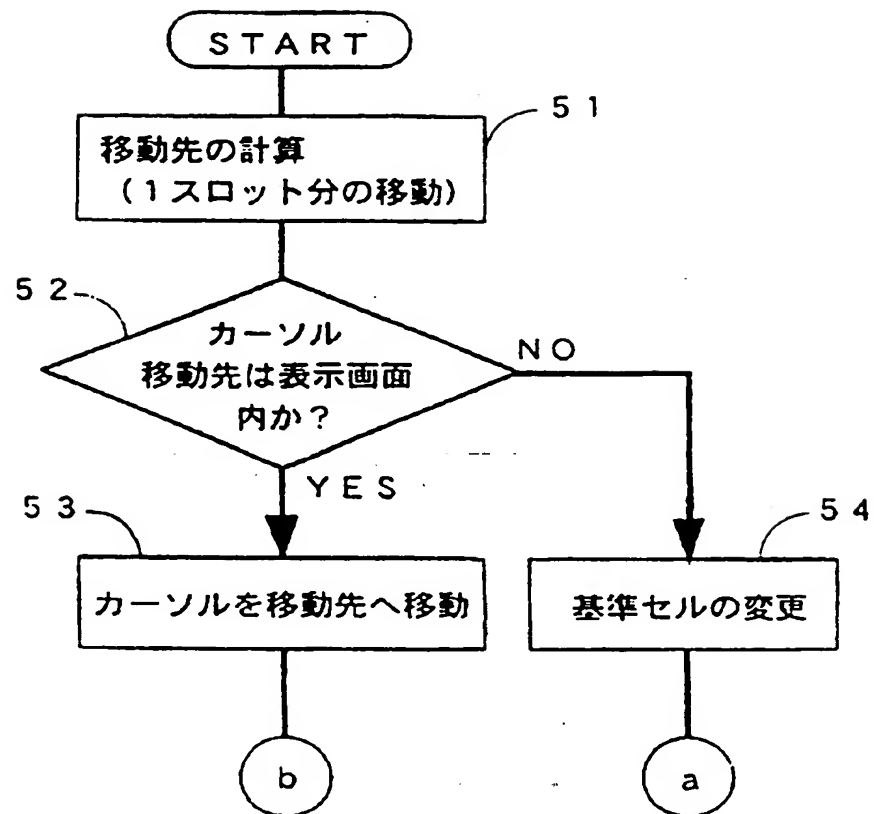
第5図



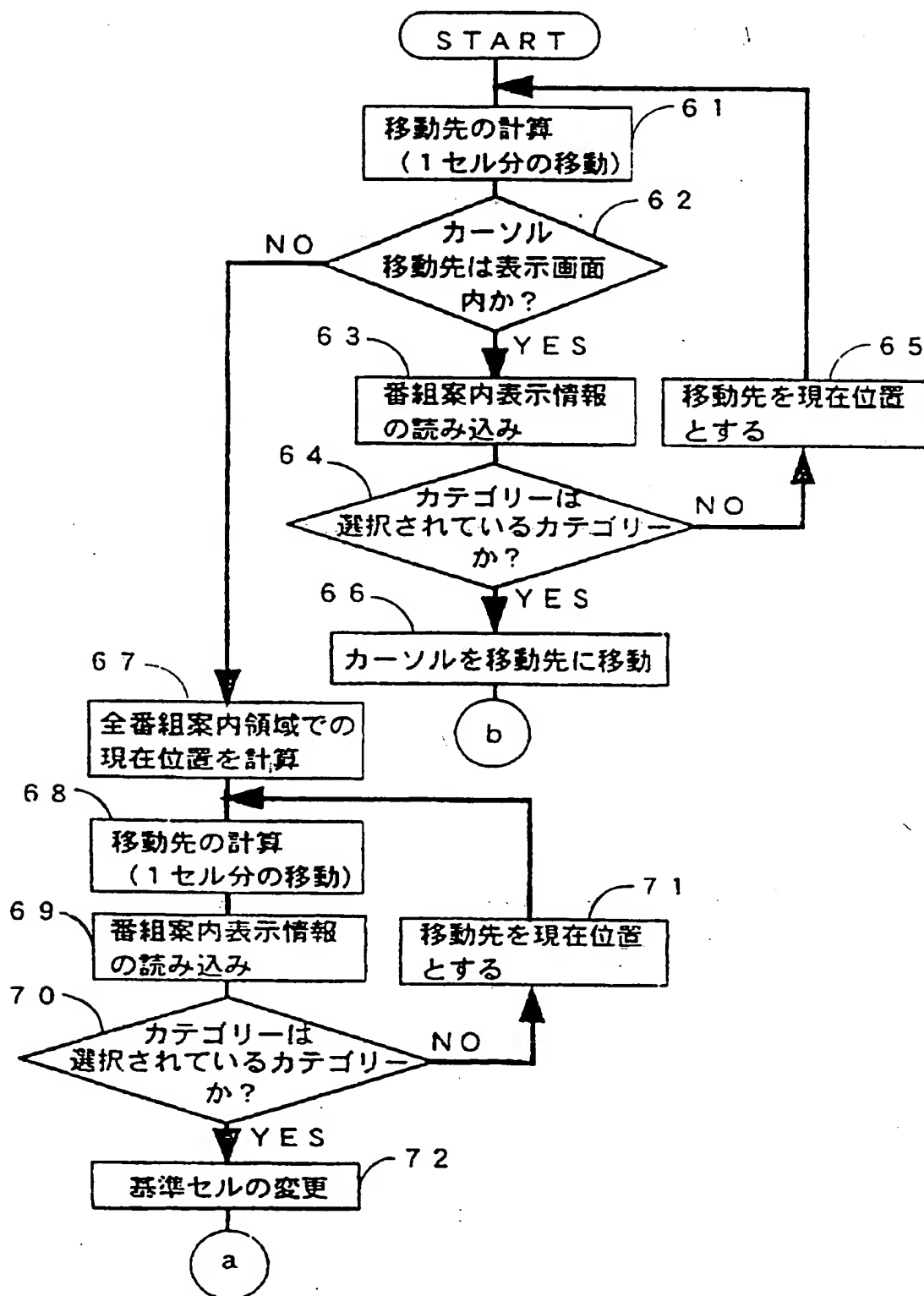
第6図



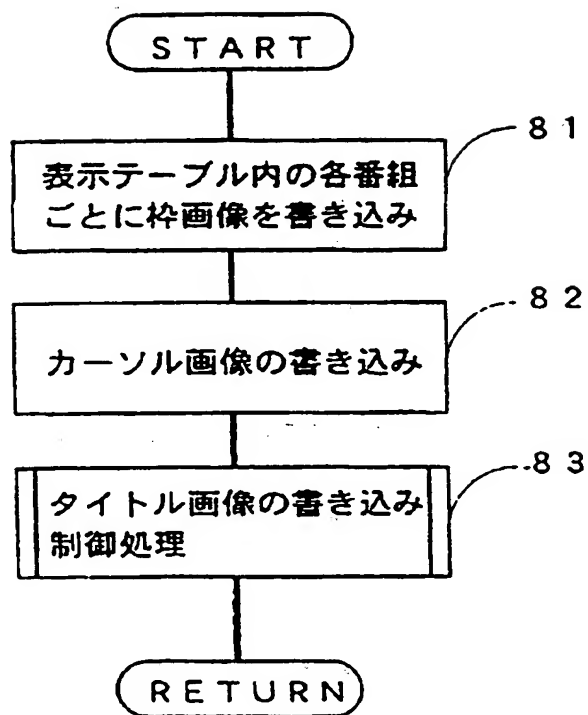
第7図



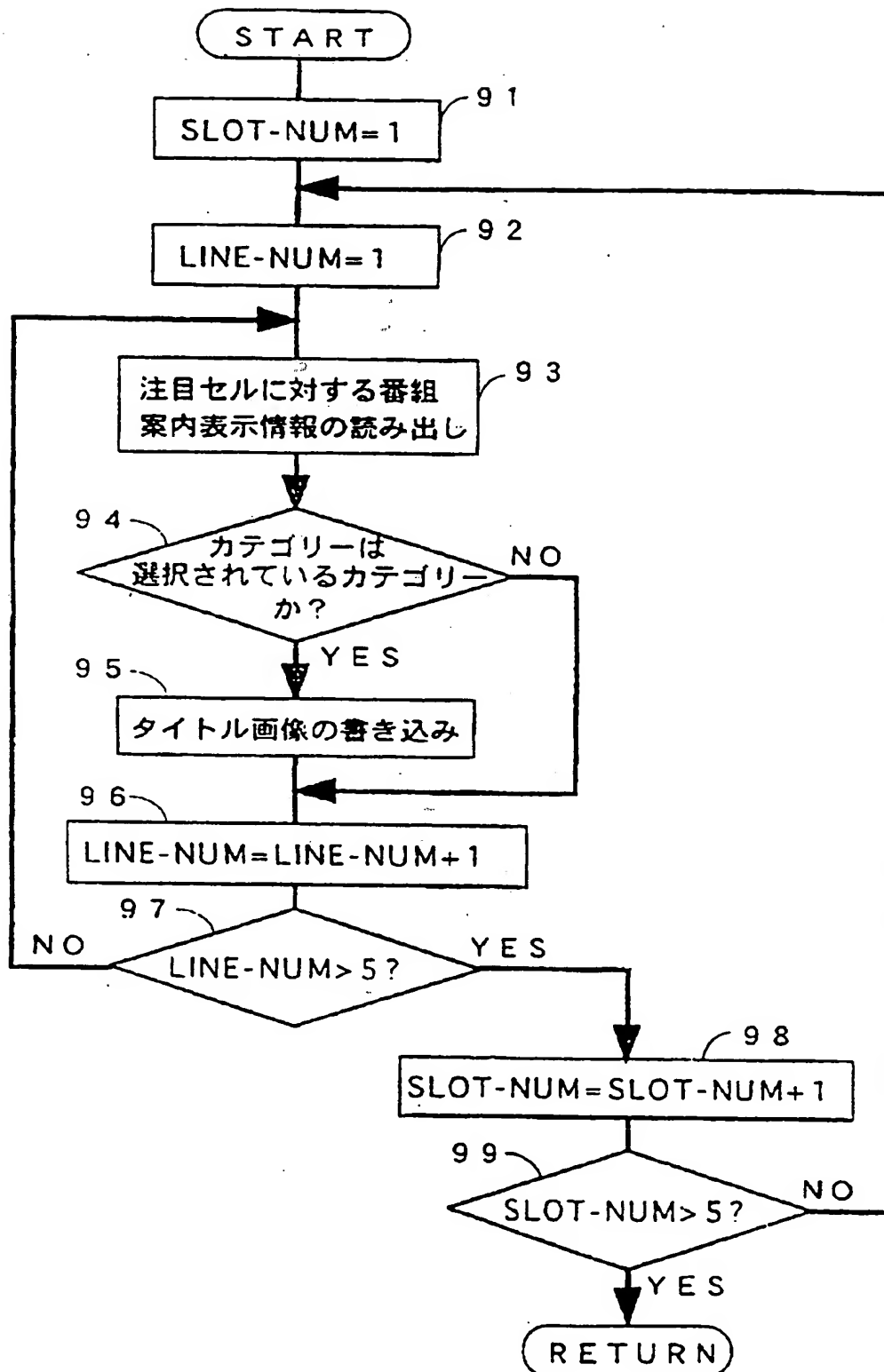
第8図



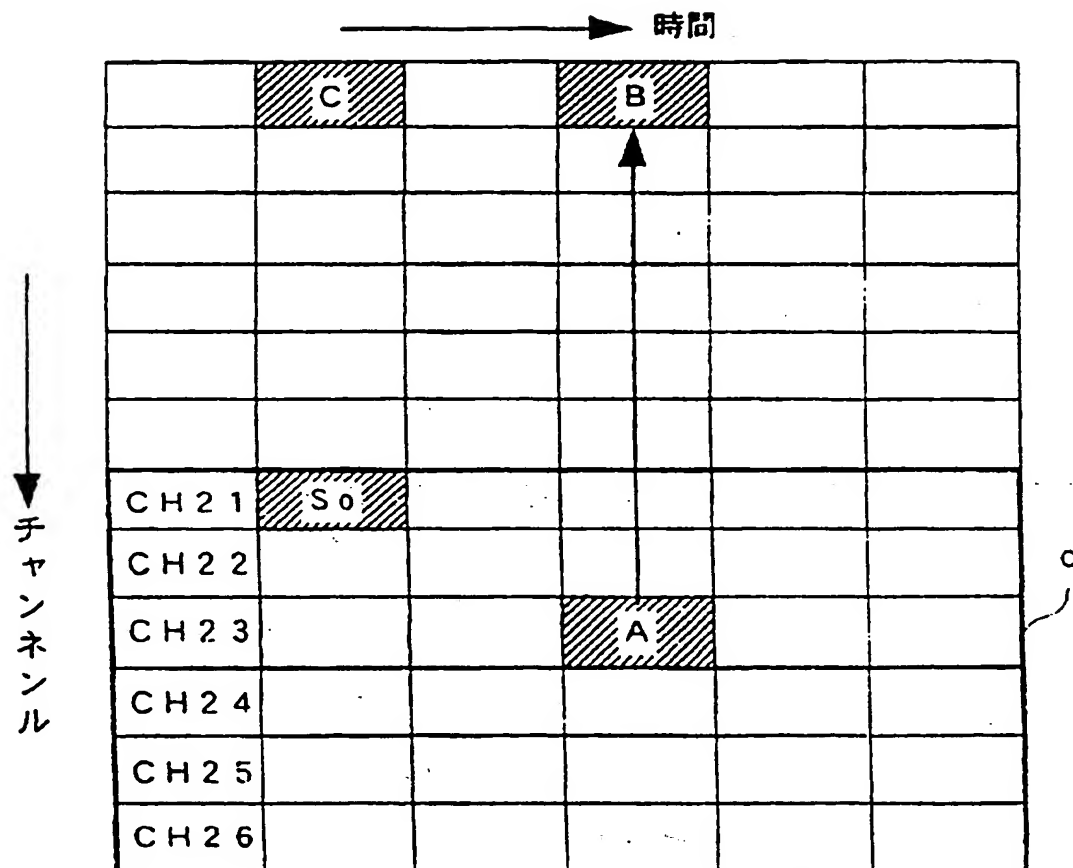
第9図



第10図



第11図



12/13

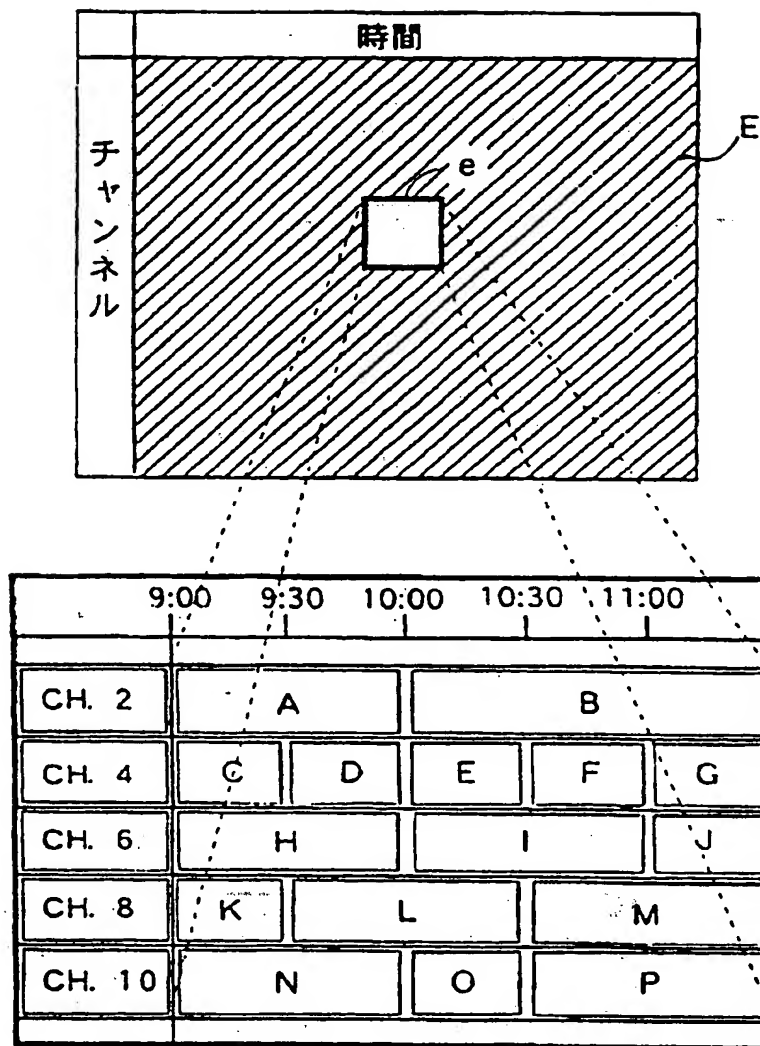
第12図

CH 3 1	A			B	
CH 3 2			C		
CH 3 3	D				E
CH 3 4					
CH 3 5					

第13図

	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00
CH. 2	ニクソン		フォレスト ガンプ		
CH. 4	テニス		ベースボール		
CH. 6	サブリーナ				
CH. 8	ゴルフ			ボクシング	
CH. 10	シーエヌエヌ ニュース				

第14図



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP97/01777

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int. Cl⁶ H04N5/445

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int. Cl⁶ H04N5/445

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1926 - 1997
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971 - 1997
Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994 - 1997

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP, 7-284035, A (Toshiba Corp.), October 27, 1995 (27. 10. 95) (Family: none)	1 - 6
A	JP, 7-236099, A (Hitachi, Ltd.), September 5, 1995 (05. 09. 95) (Family: none)	1 - 6
A	JP, 7-184136, A (Sony Corp.), July 21, 1995 (21. 07. 95) (Family: none)	1 - 6
A	JP, 6-245161, A (Fujitsu General Ltd.), September 2, 1994 (02. 09. 94) (Family: none)	1 - 6
A	JP, 5-284480, A (Fujitsu General Ltd.), October 29, 1993 (29. 10. 93) (Family: none)	1 - 6
A	JP, 5-284479, A (Fujitsu General Ltd.), October 29, 1993 (29. 10. 93) (Family: none)	1 - 6

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C.☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier document but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search

August 8, 1997 (08. 08. 97)

Date of mailing of the international search report

August 26, 1997 (26. 08. 97)

Name and mailing address of the ISA/

Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁸ H04N 5/445

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁸ H04N 5/445

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報 1926-1997
 日本国公開実用新案公報 1971-1997
 日本国登録実用新案公報 1994-1997

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
A	J P. 7-284035, A (株式会社東芝) 27. 10月. 1995 (27. 10. 95) (ファミリーなし)	1-6
A	J P. 7-236099, A (株式会社日立製作所) 5. 9月. 1995 (05. 09. 95) (ファミリーなし)	1-6
A	J P. 7-184136, A (ソニー株式会社) 21. 7月. 1995 (21. 07. 95) (ファミリーなし)	1-6

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの

「E」先行文献ではあるが、国際出願日以後に公表されたもの

「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)

「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献

「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

08. 08. 97

国際調査報告の発送日

26.08.97

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/J P)

郵便 号100

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

大野 雅宏



5C 8113

電話番号 03-3581-1101 内線 6587

C (続き) 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
A	J P. 6-245161, A (株式会社富士通ゼネラル) 2. 9月. 1994 (02. 09. 94) (ファミリーなし)	1-6
A	J P. 5-284480, A (株式会社富士通ゼネラル) 29. 10月. 1993 (29. 10. 93) (ファミリーなし)	1-6
A	J P. 5-284479, A (株式会社富士通ゼネラル) 29. 10月. 1993 (29. 10. 93) (ファミリーなし)	1-6